



(株)タップ
代表取締役社長
清水 吉輝

これからのPMSの大きな変革を見据えて

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年私ども株式会社タップは、おかげさまでホテル情報システム専門の会社として創業30周年を無事迎えました。そして今年40周年に向けた新たな10年のスタートとなります。

30年前は汎用機・オフコンが中心だったホテルシステムもその後、PCLANベースのオープン化、そしてASP・クラウドと環境も大きく変化して参りました。また、宿泊業務を中心とした基幹システムについてはPMSといった呼称が定着してきており、弊社もPMSベンダーの一社として広く認知して頂くようになりました。PMSについては少し前まではコモディティ化しつつあると言われていた時もありましたが、最近の技術革新により一段と変化と進化が求められるようになってきており、AIやビッグデータなどの取り組みが不可欠となってきております。また、ホテルや旅館などのスタッフがオペレーションすることを前提としていたシステムが、これからは宿泊ゲストも使用していくことが予測され、今までのPMSとは違う大きな変革となっていくと考えられます。弊社と致しましても次世代のPMSを構築していく上で、人とテクノロジーの融和を念頭におき進めて参る所存です。

今後とも宿泊業界のお役に立てますよう励んで参りますので、本年度も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。